

本庄市七高祭 2022 を仮想空間で開催します

3年ぶりに開催する今年の七高祭は、高校生が自らまちを歩き本市の魅力を広報紙と動画で紹介する企画を実施しています。新型コロナの影響で、はにぽんプラザでの合同文化祭が実施できないことから、仮想空間を活用した七高祭を実施いたします。七高祭は、県内だけではなく、全国的に見ても珍しい事業と考えます。ぜひご覧ください。

■「七高祭」について

本庄市には、公立・私立を合わせて7つの高校（特別支援学校高等部を含む。）があり、人口8万人弱という市の規模に対して高校の数が多いことが、本市の特徴であり、強みでもあります。

市では、市内で学ぶ約5千人もの高校生を地域資源と捉え、地域愛の醸成と関係人口創出につなげるため、「七高祭（ななこうさい）」と称して、高校生との連携事業に取り組んでいます。これまで、まちづくりに関するパネルディスカッションや、地元企業への商品開発提案、近年では7校での合同文化祭などを実施してまいりました。

■令和4年度の企画について

3年ぶりの開催となる令和4年度の「七高祭」では、高校生が「①広報紙」と「②PR動画」の制作を通じて本市の魅力を紹介する企画を行うとともに、コロナ禍でも実現できるプロジェクトとして、「③仮想空間を活用した合同文化祭」の3つの企画を実施します。

①「広報紙」（広報ほんじょう（別冊版））について（11月15日発行）

高校生自身がテーマを考え、まちの取材や記事の執筆を行いました。市が発行する広報紙同様に、市内全戸に配布されました。



「広報ほんじょう（別冊版）」

②「PR動画」について

高校生の目線で撮影・編集した本庄市の魅力紹介動画です。

※インスタ用ショート動画14本、市公式YouTube用ロング動画4本をご覧ください。

③「仮想空間を活用した合同文化祭」の公開（令和4年12月1日～12月31日）について

インターネット上の仮想空間で、高校生が制作した「①広報紙」・「②PR動画」のほか、各校部活動の発表動画等を公開しています（市HPや下記QRコードからアクセスできます）。



▲ 仮想空間を活用した合同文化祭（イメージ）

※プラットフォーム提供：有限会社キリンジ



◀七高祭仮想空間



◀七高祭 市HP



◀七高祭公式 Instagram

○添付資料 広報ほんじょう 11月号別冊版（11月15日発行） 1部
問合せ先

○本件記事に関すること 本庄市広報課魅力創造係 担当：鳥羽・内田・細井

電話：0495（25）1614